

勅授

二〇六

丙  
四十九七九

立案 昭和十八年三月九日

決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

故陸軍中將下田宣力外一名位階追陞ノ件

昭和十八年三月九日  
裁可一月三十一日  
達  
日官報報告済  
臺帳記入

裏面白紙



故陸軍中將下田宣力外一名位階追陞ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十八年三月二十六日

内閣總理大臣東條英機

内閣

人選第三七〇號

案起

昭和十八年三月五日

裁可

昭和十八年三月廿六日

施行

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

故陸軍中將下田宣力外一名位階追陞

、件

辭令案

列文

一月二十六日付

内閣

裏面白紙

大正八  
三〇  
號

叙正四位

昭和六年一月廿六日死

故陸軍中將從四位下田宣力

查元

年十二月廿四日

陸軍工兵少尉

以奉在職十年以上

叙從四位

昭和六年一月廿六日死

故陸軍中將正五位外立岩治

查三

年十二月廿四日

陸軍歩兵少尉

以奉在職十年以上

右文武官叙位進階内則第四條ノ二ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十八年三月二十一日

陸軍大臣東條英機



裏面白紙

めくれず

裏面白紙

陸位第二五七號

叙位ノ件進達

昭和十八年三月二十二日

陸軍大臣東條英機

内閣總理大臣東條英機殿

故陸軍中將下田宣力外一名位階追陞ノ件

右進達ス

下田宣力外立岩治ハ南方方面ニ於テ

戦死セル 處當時通信連絡ノ不備ニ基ク因シ之ヲ確認

ニ日子ヲ要シ文武官叙位進階内則所定ノ取扱期限ヲ經過シタル

次第ナルモ特ニ昭和十二年八月二十一日附閣議第三九七號通牒ノ主旨

ヲ適用セラレ生前ノ日附ヲ以テ發令方取計相成度

18.3.25 付受

官報不登載

陸軍

丙 發第六〇五號

故陸軍中將從四位下田宣力

特旨ヲ以テ位一級追陞セララル

昭和十八年三月二十九日

從四位下田宣力

敘正四位

昭和十八年一月二十六日

右之通 宣下相成候條此旨及傳達候位記竝辭  
令ハ追テ可及回送候也

昭和十八年三月二十九日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

陸軍大臣

宮内省

裏面白紙

丙  
發  
第六  
號

故陸軍中將正五位外立岩治

特旨ヲ以テ位一級追陞セララル

昭和十八年三月二十九日

正五位外立岩治

敘從四位

昭和十八年一月二十六日

右之通 宣下相成候條此旨及傳達候位記竝辭  
令ハ追テ可及回送候也

昭和十八年三月二十九日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

陸軍大臣

裏面白紙

宮内省

天 發第八二五

一 敬陸軍中將正四位下田宣力外一名

右位記立辭令及回送候條交付方御取計有之度候也

昭和十八年四月二十三日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

陸軍大臣

二 説野紙

裏面白紙

宮内省